

アイデア活かし情報発信

布部 小中学校



▲アイデア満載のキャラクター「ぬのべ犬」を囲む子どもたち



▲先生たちが手作りした小さなぬいぐるみや段ボールを使った着ぐるみ



◀ぬのべ犬をプリントしたTシャツ



恵 まれた地域の環境を活かした活動に取り組み布部小中学校。伸び伸びとした教育環境の中で育っている子どもたちは、毎年10月に開催するふらの演劇祭ですばらしい演技を披露するなど、活躍の幅を広げています。

しかし、一方では児童や生徒の人数が減少している現状があることから、「布部小中学校のことをもっと多

くの人に知ってもらい、少しでも興味を持ってほしい」と、そのPR活動の一環として、学校独自のキャラクター作りを冬休みごろから開始。みんなのアイデアを出し合い、6月にはマスコットキャラクター「ぬのべ犬」が完成しました。

ぬのべ犬の図腹でへそ祭りに参加した南裕一校長は「たくさんの方が学校をはじめ、地域に目を向けてもらうきっかけになればと思います。一人でも多く、子どもたちの仲間が増えてほしいです」と新たな取り組みに期待を寄せています。また、子どもたちの仲間

を増やしてあげたいという思いから、保護者もぬのべ犬をプリントしたTシャツをはじめ、携帯ストラップの製作にかかわるなど、地域ぐるみで学校の取り組みを応援しています。

今年の演劇祭で、初めて公の場で披露されるぬのべ犬。マスコットキャラクターについて、6年生の佐藤文美さんは「学校の形が特徴的なので、それを犬に表現できて、面白いと思いました」と話し、5年生の谷山綾音さんは「みんなのアイデアを取り入れたキャラクターが完成して、とてもうれしいです」と完成した喜びを話してくれました。

また、学校ではフェイスブックやホームページで、さまざまな取り組みなどを紹介し、子どもたちのアイデアがいつぱい詰まったオリジナル映像も見ることができます。

「教育・生活環境を豊かにしたいという保護者や子どもたちの手助けになれば」と学校や地域の魅力を発信している布部小中学校。これからも、学校や地域ぐるみの取り組みを展開していきます。